

製品名: HK2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80881**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	102kDa

抗原情報

遺伝子名	HK2
別名	HKII; HXK2; DKFZp686M1669; HK2
遺伝子 ID	3099.0
SwissProt ID	P52789
免疫原	大腸菌で発現したヒト HK2 の精製された組み換え断片。

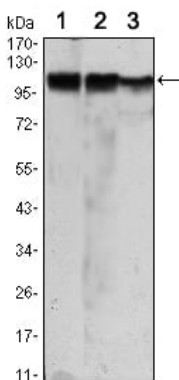
背景

ヘキソキナーゼは、Mg-ATP をリン酸供与体として利用し、細胞内グルコース代謝の第一段階であるグルコースからグルコース -6-リン酸への変換を触媒します。ヘキソキナーゼには、ヘキソキナーゼ I (HXK I)、ヘキソキナーゼ II (HXK II)、ヘキソキナーゼ

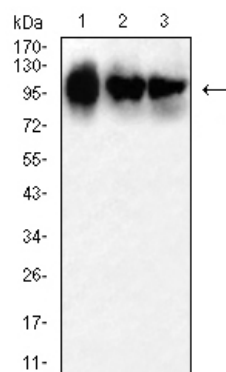
III (HXK III)、ヘキソキナーゼ IV (HXK IV、グルコキナーゼまたは GCK と呼ばれる) の 4 つのアイソザイムが同定されています。ヘキソキナーゼ I~III はそれぞれ、疎水性アミノ酸の N 末端クラスターを有しています。グルコキナーゼは N 末端疎水性クラスターを欠いています。この疎水性クラスターは膜結合に必須であると考えられています。これは、グルコキナーゼが他のヘキソキナーゼよりもグルコースへの親和性が低いという知見によって裏付けられています。ヘキソキナーゼ 2 は、骨格筋などのインスリン反応性組織で発現する主要なヘキソキナーゼアイソザイムです。この遺伝子の発現はインスリン反応性であり、ラットを用いた研究では、急速に増殖する癌細胞で見られる解糖系の速度増加に関与していることが示唆されています。

研究分野

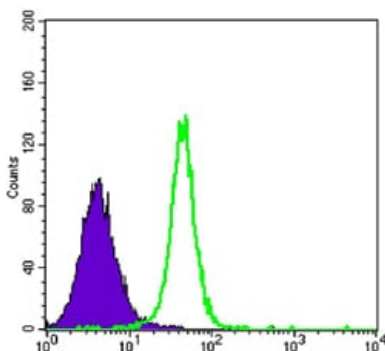
画像データ



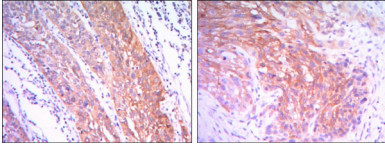
Jurkat (1)、Hela (2)、HEK293 (3) 細胞溶解物に対する HK2 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



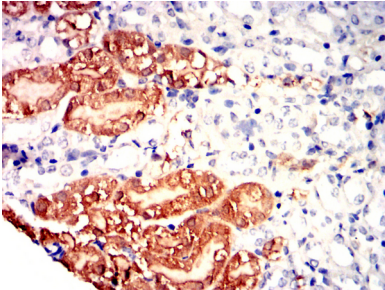
C2C12(1)HEK293(2)Jurkat(3)細胞溶解物に対する HK2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



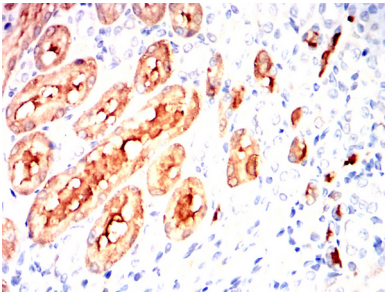
HK2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



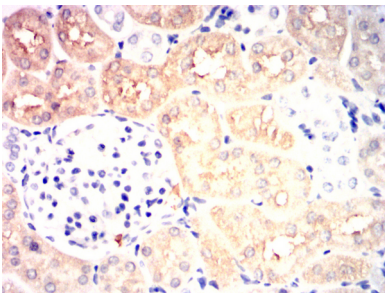
HK2 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト食道癌組織(左)とヒト肺癌(右)の免疫組織化学分析。



HK2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス腎臓の免疫組織化学分析。



HK2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット腎臓の免疫組織化学分析。



HK2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ腎臓の免疫組織化学分析。